

## 第18回岩手県がん対策推進協議会 開催結果及び会議録

### 1 開催概要

日 時	平成28年7月21日(木) 15時30分から17時00分まで
場 所	エスポワールいわて 特別ホール
出席者	別紙「出席者名簿」のとおり。
議 事	(1) 取組報告 (2) 議事 (3) その他

### 2 会議録

#### 取組報告

#### (1) 一般社団法人岩手県歯科医師会の取組（資料1）

##### 一般社団法人岩手県歯科医師会 専務理事 大黒 英貴氏

発言者	発言内容
小原会長	ありがとうございました。 ただ今の件について何か委員から、遠慮せずに何かありませんか。
県立中部病院 遠藤委員	今の発表の中に、何回か名前が出てきました中部病院の院長の遠藤です。 2年少し前に中部病院に赴任した時には、既にこうした活動が盛んに行われており、26年に花巻歯科医師会と一緒に活動してくれと言うことで入っていただいてから爆発的に増えています。 がんとなぜこれが関係あるのかと思われると思いますが、例えば手術をする時に口腔ケアがきちんとできていると、術後の合併症が少ないし、それから栄養状態がよく保たれます。 がんの場合には化学療法等があるが、その化学療法を途中で断念しなくてはいけない場合、口腔粘膜がたれたりということが結構あるが、こういった介入をすることで完遂できると、治療がきちんとできるということで助かっています。 それ以外にも一番最後にあった妊婦にも介入をして、それから先ほどの早産の話がありましたが、子どもの虫歯が少なくなるというデータもあり、この辺をこれからも力を入れていこうかと考えています。 よろしくお願いします。
小原会長	他にありますか。 どうもありがとうございました。

#### (2) 長期療養者に対する就職支援について（資料2）

##### 盛岡公共職業安定所 主任就職促進指導官 佐藤 正宏氏

発言者	発言内容
小原会長	ありがとうございました。 ただ今の説明に対して、委員の皆さんから何かございますか。
いわてピンク クリボンの会 仁昌寺委員	今のお話のように、まだまだこれからの課題が多いサポートになるということですが、がんは働き盛りの人たちの命と健康を脅かすということで、とても就労ということが大きな問題になってきているようです。 私の知っている人でも職場の理解があって、短時間労働にしてもらったとか、働く場所を変えてもらったという人も中にいますが、自分がこういう病気だと言っていいのかと非常に悩んでいる人たちが多くいます。 ただ今ご説明いただいたのは、個別の指導が重点的に行われているようですが、今後、受け皿としての職場の理解が進んでいけば、がんになっても、がんにも負けない暮らしができると、最終的な目標に近づいていけるのではないかと考えているのですが、今後、企業というか事業所への働きかけは、どのように取組をしているのかお伺いします。

<p>盛岡公共職業安定所 佐藤主任就職促進指導官</p>	<p>事業主向けのセミナーと申しますか、要は多くの企業に集まってもらい、がん患者の就労について理解をしていただくセミナーの開催を一応義務付けられています。</p> <p>治療と職業生活の両立支援のガイドラインを企業に示し、従業員の方が、がんの治療を受けながら、仕事を続けるための継続雇用の方策とか、いろいろな支援をしていくための方法や対策を含めてそのガイドラインを作成していますので、安定所にいらっしゃって、必要な事業所にはお渡ししながら、求人募集をしに来る企業には、可能な労働条件のところを、もしがん患者の応募があった場合、配慮ができるかと確認しながら進めているところですが、これからということになります。</p>
<p>盛岡かたくりの会 佐藤委員</p>	<p>例えば、個別に会員、あるいは会外の方からいろいろと相談を受けるのですが、患者さんは一般的にすごく責任感が強いものですから、自主的に辞めたいという方が結構多いわけです。</p> <p>例えば、ある地方公務員の方、具体的な職種は警察官です。</p> <p>警察官の方が末期のがんになりまして、「他の方に負担をかけるからやめたい」という話をされました。</p> <p>私は、まず今後の状況を見極め、後は休職制度が当然あるわけですから、休職制度を利用して療養する方法もあるのではないかとということで、退職を思いとどまり、休職に移行しました。</p> <p>残念ながら休職期間中に旅立ってしまいました。</p> <p>そのように、まだどうなるかわからない間に苦悩して、早期に退職する方が多いわけです。</p> <p>ですから、私は個別の相談があった場合は、辞めるとまず保険が変わるんだよ、収入がなくなるんだよ、あとは税金、住民税とかあるのです。</p> <p>収入がなくなっても、そういう支払いが出てくるのですよ、どうするのですか、と問いかけるのです。</p> <p>そうするとそこで考える人が多い。</p> <p>ですから、私は、まず辞める、退職することは焦らなくていいのだ、また、自分の体調を考えて、今後を見込んでから、事務所の方と相談するなりして決断したらいいのではないかとアドバイスしています。</p> <p>一応、参考までに申し上げました。</p>
<p>盛岡公共職業安定所 佐藤主任就職促進指導官</p>	<p>先ほど申しましたとおり、がんと診断されて離職される方は半数近くに上っているという統計があります。</p> <p>私も個人的にがんと診断されたら、一気に就労意欲が失せてしまうのではないかと思うことがあるのですが、やはりがんと診断した後のケアというのが非常に精神的なところも含めて大事になってくると思います。</p> <p>もし、当所のナビゲーターに相談に来た中に在職中の方がいたら、まずは先ほどの話にもあったように、今のお勤め先に対して療養していることを開示しながら、理解をしていただいて、労働条件の配慮についてまず申し入れをします。</p> <p>交渉してみるのが労務士の仕事ですので、本人に対しては助言をしながら労使交渉をなんとかしていただいて、配慮の方向で継続雇用ができないかというところを、条件としたいと思っています。</p>
<p>小原会長</p>	<p>この就労支援の普及には、かなり力をいれていますので、委員の団体さんの皆さんも広報していただければと思います。</p>

### (3) 学校におけるがん教育について（資料3）

岩手県教育委員会事務局スポーツ健康課 指導主事兼保健体育主事 高橋 雅恵氏

発言者	発言内容
<p>岩手医大 木村委員</p>	<p>沢内小学校でのがん教育の資料を拝見しました。</p> <p>がんについての知識はもちろんですが、やはりお子さんたちに対しての教育がどのように進めるのか全く知識がありませんで、非常にすばらしく、担任の先生と養護教育の先生が1時間も使って、講義されていたのがとても印象深いと思っています。</p> <p>ただ、お子さんたちから結構鋭い質問が出ますので、それにみんなその方たちにご回答いただくのは、なかなか負担ではないかと思っておりますので、その方たちが授業に出る前の段階で、何か研修会なりを通じて持ち帰れるのではないかと思います。</p>

## 議 事

### (1) 平成 27 年度のがん対策の取組状況について（資料 4）

### (2) 平成 28 年度のがん対策の取組について（資料 5）

発言者	発言内容
岩手ホスピ スの会 川守田委員	<p>委員として、がん患者の立場から話させていただきます。</p> <p>岩手ホスピスの会を 15 年に亘って、緩和ケアが十分に行き届かず、辛い思いをした患者の経験を元に、医療者の皆さまや県民の皆さまに、緩和ケアの重要性を知っていただきたいと思い、活動を続けてきました。</p> <p>今お話ありましたが、先週、岩手県庁で県主催による緩和ケアに関する患者と医療者の合同検討会議が、岩手で初めて開催されました。</p> <p>岩手の患者 23 名、それから岩手で緩和ケアに携わるお医者様、認定看護師 20 名、この方たちが初めて一同に集まって、岩手の緩和ケア医療の充実について、話し合いました。</p> <p>開催にあたっては、木村祐輔先生に大変なご尽力をいただいて、話し合いました。</p> <p>話し合いの内容の中では、このがん対策推進協議会についても話題が出まして、県南地域の患者会の方々から、もっともっと幅広い患者の声をがん対策推進協議会に反映させてほしいという意見が多数出ておりましたのは、ご担当者の方々もご存知だと思います。</p> <p>そういうことで、このような記念すべき会議が今回行われたのを 1 つのきっかけとして、更に緩和ケアをより良くするためにお願いしたいことは、このがん対策推進協議会に、外部専門部会であり下部組織として、緩和ケア部会というものを設置していただけないかと思っています。</p> <p>というのも、一口に緩和ケアと申しまして、近年はがん告知から延命治療の選択まで、幅広い部分が緩和ケアとしてカバーされるようになってきています。</p> <p>現在のがん対策推進協議会は、年に 1 回のみの開催になっておりまして、実際のがん患者同士が意見を交換することが難しくなっています。</p> <p>一方、東京とか広島県、奈良県、千葉県などの全国の各県のがん対策推進協議会には、緩和ケア部会が設置されていて、その県の緩和ケアについて具体的に検討して、上部組織であるがん対策推進協議会がその結果を受けて、その県の緩和ケア対策策定の参考にしているようです。</p> <p>今回、開催された緩和ケアに関する合同検討会議担当の木村祐輔先生、そして医療政策室のご担当者の方々、そして参加した患者会の有志、この方たちを中心メンバーにして部会が設置できるのではと思っています。</p> <p>併せまして、木村先生が進めています「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」の開催の指針改定によって、より患者の意見を取り入れるようにというのは、この緩和ケア部会を利用していただけたら幸いです。</p> <p>また緩和ケア部会と緩和ケアに関して特化してお話しましたが、緩和ケアだけではなく、例えば治療部会とか他県にはあるようですので、ご検討いただければ幸いです。</p>
小原会長	<p>大変重要な提案がありましたが、まず一点は、県南地区の声が届かないということですね。</p> <p>二点目は、この協議会の下部組織として、緩和ケア部会を設置していただきたい、併せてその他の治療部会とか色々な部会を設置していただきたい、重要な提案ですが、どうですか、回答は得られますか。</p>
野原副部長	<p>がんに関しましては、予防、治療、緩和ケア、教育、そして様々なテーマがあると考えています。</p> <p>しかし、この協議会で全ての議論を少ない会議の中で、絞り込んでいくのは難しいと我々も認識しています。</p> <p>また、現在でも、がん対策推進協議会の下部組織ということではないのですが、例えば、がん治療に関しては、がん診療連携協議会の先生方で具体的なパスの推進とか医療の質の向上とか様々な件で協議が行われています。</p> <p>また予防に関しましては、がん検診の精度管理委員会などで検診の向上ということに関して、検討委員会があります。</p>

発言者	発言内容
	<p>そうした意味で、他の部分で協議されている内容についても、この協議会できちんと議論されていること、報告させていただいて協議させていただいているということで御理解いただきたい。</p> <p>また、ワーキングの設置に関しましては、いろんな方々のご意見等を伺って検討しなくてはいけないと思っています。</p>
高橋課長	<p>本協議会の委員に県南地区の患者会の代表をとという御意見につきましては、先週 16 日の患者・家族会合同検討会議にもそういう話がありまして、県内に患者会が 13 ありますけども、協議会に患者会、家族会の方々のご意見を元に見直しをしていきたいと思っています。</p> <p>よろしくをお願いします。</p>

## 報 告

### 国の次期がん対策推進基本計画の策定と岩手県がん対策推進計画について（資料 6）

発言者	発言内容
小原会長	<p>ただ今、説明がありました。委員の皆さまから何かありますか。</p> <p>具体的には資料 6 の 1 ページの表の中にある平成 28 年度の 7、8、9 月に検診、医療提供体制、緩和ケア、こういったところの意見を聞く訳ですか。</p>
山口課長	<p>国の協議会では検診、医療提供体制、緩和ケアの検討会を設置しており、この中でそれぞれ議論され、この議論が国の協議会に上がり国の計画が作成されます。</p>
小原会長	<p>そうすると県の協議会は今年度またやることになりますか。</p>
山口課長	<p>岩手県は資料 6 の 1 ページの表の下の欄になります。</p> <p>国から基本計画の骨子案、諮問・答申が出ますので、この内容を見ながら、県の計画の中に取り込むため今年度の開催については検討していきたいと思っています。</p>
小原会長	<p>それでは各委員の皆さま、ご意見を温めていただきたいと思います。</p>

## その他

発言者	発言内容
小原会長	<p>なければ、次ですが、その他です。</p> <p>委員の皆さまから、お願いします。</p>
盛岡かたくりの会 佐藤委員	<p>私からは、リンパ浮腫の治療費について、ご報告と医療関係者の皆さまにお願いしたいと思っています。</p> <p>今年度の診療報酬の改定によりまして、おかげさまで治療費が保険適用になったところです。</p> <p>私どもとしましては、以前からリンパ浮腫サロンを開催して、県内各地で啓蒙、指導にあたってきたところで、非常に喜んでます。</p> <p>しかし、県内の医療機関を電話で調べてみましたが、残念ながら、保険で診療する機関は一箇所もありませんでした。</p> <p>そういったところで、岩手医大は順次、要件を満たすべく努力しており、何とか今年中には治療が出来るようになるのではという話を耳にしています。</p> <p>そこで私も認定要件を調べましたら、なかなかハードルが高くて、広がらないのは診療報酬が低いからではないかと思っています。</p> <p>それで、現在、保険で診療をしているところがないので、自由診療で治療をしているのが実態です。</p> <p>そこでせっかく保険が適用になったので、なんとか医療者の皆さまにいろいろ大変かと思いますが、その基準をクリアして、なるべく早く保険診療をしていただけたらありがたいと考えています。</p> <p>去年、釜石と遠野と盛岡でサロンを開催したのですが、釜石の県立病院ではありませんので、宮古までわざわざ車で通って、国道 45 号線が今、復興工事ですごく混んでいるのですが、そこを縫ってわざわざ釜</p>

発言者	発言内容
	<p>石から宮古まで行って、治療をして、それで帰ってくると、クタクタだという状況もあります。</p> <p>また、全く知識がないものですから、ハリ治療を受けている方もいました。</p> <p>ハリは厳禁ですが、知識がないからハリを受けている実態があります。</p> <p>それで今年度は久慈と二戸、盛岡で開催する予定にしていますが、再度お願いですが、なんとか大変な状況なのはわかりますが、保険で治療が受けられるように特段のご配慮をお願いしたいと思っています。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
小原会長	これは、大学の方でお答えできますか。
岩手医大 杉山委員	<p>おっしゃることはもちろん理解しているつもりですが、指定の要件のハードルが高い。</p> <p>今度新しい形成外科の長内教授がいらっしゃいますのでリンパ管の治療とかできる方がいらっしゃるの で、そういった点でお届けできるかもしれません。</p>
盛岡かたくりの会 佐藤委員	<p>それで、いろいろと各病院さんの担当者さんと話をしたところ、残念ながら明るい見通しはありません でした。</p> <p>ですから、せいぜい当面医大くらいかなと思っております。</p> <p>ただ、県内各地にリンパ浮腫で悩んでいる方がいっぱいいるのが現状です。</p> <p>ですから、その辺を理解していただいて、何とかお願いできればありがたいと切実なお願いです。</p>
岩手医大 杉山委員	よくわかりました。ありがとうございます。